

食品ロス削減を考える シンポジウム

参加費
無料

売れ残りや食べ残し、賞味期限切れなど、本来食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」。食べられる食品を捨ててしまうことは、“もったいない”だけでなく、環境や経済に関わる問題もはらんでいます。

食品ロス削減を始めとした社会課題解決に貢献する企業、NPO法人の取組等の紹介を通じて、食品ロス削減に関する理解と関心を深めていただきます。



小平 佳鈴 氏
(こひら かりん)

株式会社クラダシ
(フードロス削減を目指す
ショッピングサイト
「Kuradashi」を運営)



難波江 任 氏
(なばえ つとむ)

特定非営利活動法人
eワーク愛媛 理事長
(えひめフードバンク愛媛)

令和5年

12.16(土)

10:00 ~ 12:00



食べものに、
もったいないを、
もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT

会場

愛媛大学農学部 大講義室(松山市樽味3丁目5番7号)
(オンライン(Zoom) 同時配信)

定員

会場100名、オンライン100名

参加方法

以下のURL又は二次元バーコードからお申し込みください。
URL:https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/406_231120.html

申込締切：令和5年12月11日(月) 17時まで



【お問合せ先】

食品ロス削減を考えるシンポジウム事務局 (中国四国農政局 経営・事業支援部 食品企業課)
TEL:086-224-4511 (内線2153) E-mail:3r_kankyuu.chushi@maff.go.jp

講演者紹介

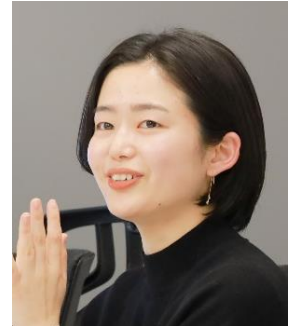
株式会社クラダシ 小平 佳鈴 氏

令和3年、クラダシ入社。基金運営Gを主務とし、クラダシ基金の企画運営やフードロス削減の取組を推進するための自治体連携などを担当。また、広報担当として各種メディア対応や事業連携などにも取り組む。

(株式会社クラダシ)

平成26年設立。フードロス削減を目指すショッピングサイト「Kuradashi」を運営。賞味期限が迫った商品や季節商品、パッケージの汚れやキズなど通常のルートでの販売が困難な商品を買取り、Kuradashiで販売。また、売上の一部を社会貢献活動を行う「クラダシ基金」とし、社会貢献型インターンシップ(地方創生やフードロスに興味がある学生が人手不足に悩む農家や地域を訪れ収穫支援を実施)など地方創生やフードバンク支援に取り組む。

令和2年度食品ロス削減推進大賞(消費者庁長官賞)、令和4年度食品ロス削減推進表彰(環境大臣賞)を受賞。



小平 佳鈴 氏

特定非営利活動法人 eワーク愛媛 理事長 難波江 任 氏

平成15年、若者の自立支援を目的に任意団体としてスタートし、平成17年法人化。代表として20年にわたり活動。

平成24年、フードバンク事業を開始し、生活困窮者支援を行う団体や福祉団体に食料提供を行う。令和元年、子ども食堂を開始。

令和2年には、食料を必要とする者が無料で食料を選んで持ち帰ることができるフードマーケット事業として「コミュニティパントリー」を開始するなど、食品ロス削減や生活困窮者への支援活動にとどまらず、地域コミュニティづくりに取り組む。

第9回食品産業もったいない大賞(農林水産大臣賞)、令和4年度食品ロス削減推進表彰(内閣府特命担当大臣賞)を受賞。



難波江 任 氏

～ プログラム ～

● 講演

(1) 食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢について
中国四国農政局 経営・事業支援部

(2) 楽しく気軽に取り組みながら食品ロスについて考える
株式会社クラダシ 小平 佳鈴 氏

(3) 愛媛で広がる地域循環型フードバンク活動について
特定非営利活動法人eワーク愛媛 理事長 難波江 任 氏

● 質疑応答